

# 未来の市立 幼稚園・保育所 を考える

園こども未来室（内線291）  
教育指導室（内線369）



現在、本市では新たな「市立幼稚園・保育所のあり方基本方針」の策定に向けて、さまざまな取り組みを進めています。市立幼稚園や保育事業において実施してきた取り組みや、この間見えてきた課題を告示し、7月に実施したタウンミーティングでいただいたご意見を紹介します。

また、改めて作成を予定している市立幼稚園・保育所のあり方基本方針策定に向けた市の考えを告示します。

## 幼稚園—新たな取り組みを展開—

近年、市民の皆さんからのニーズの高い取り組みをすべての市立幼稚園で実施しました。

### 預かり保育の実施

令和2年4月～  
課業日は午後5時まで、  
長期休業期間は週2回  
預かりを実施しています。



今までできなかった仕事が始めるようになりました。長い夏休み、今年は特にコロナで子どもたちも退屈な中、幼稚園で預かってもらえるので、私にとっても、子どもにとってもありがたいです。

新堂幼稚園 井尾 かおりさん

### 合同保育バス送迎

令和2年4月～  
バス送迎で園から園へ  
お出かけし、他園と合  
同で保育する機会を作  
りました。



合同保育では、年長・年中児にとっては、同い年のいろんな子どもたちと会話をしたり、遊んだりすることでいい刺激となり、いろいろなことを学べていると思います。

伏山台幼稚園 松本 奈々美さん

### 3年保育を開始

令和3年4月～  
3年保育を本格実施し、  
3歳児が入園しました。



家ではできないような、子ども同士ふれあいや自然に触れる、四季折々の行事を体験するなど、幼稚園に通っているからこそできることを3歳児から経験することは親子ともに嬉しいことだと思います。

富田林幼稚園 谷 久美子さん

—保護者の声—

### 園で給食を開始

令和3年4月～  
学校給食センターで調  
理した給食を園で提供  
しています。



給食を食べるようになってから、苦手な野菜が食べられるようになり、今ではピーマンの肉詰めが好物になりました。

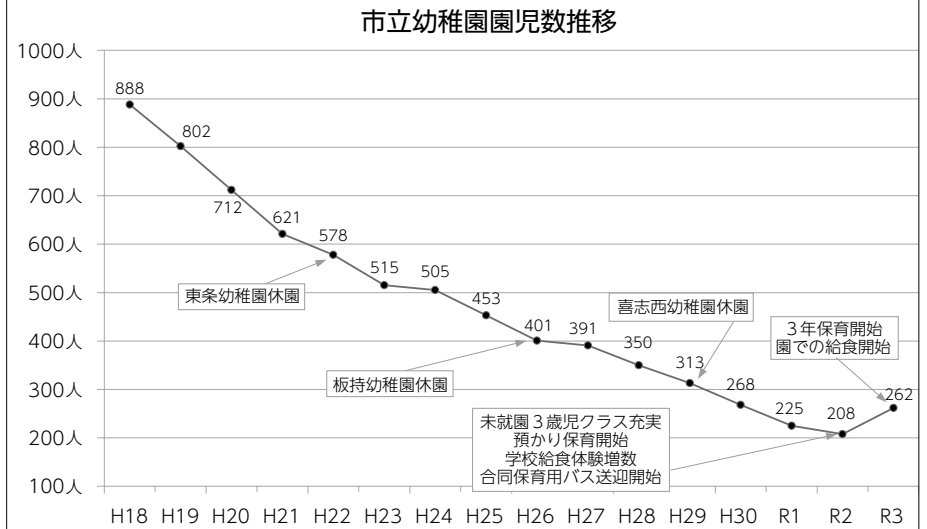
彼方幼稚園 松川 雅美さん

※園児募集については25ページ、または右図のQRコードより各園のページをご覧ください。



## 市立幼稚園広報チーム「スマイル・アップ」の活動

説明会やSNSなどさまざまな広報活動を強化しています。



市立幼稚園の園児数は、平成18年度から令和2年度までの14年間で680人減少しています。令和3年度は、3年保育を開始したことで園児数が増加しました。

## 将来の市立幼稚園のあり方について 識者と対談



本市の3歳児保育の指導など、幼稚園行政に関わる常磐会短期大学非常勤講師の興石由美子先生と吉村市長が対談しました。

**市長** 富田林市立幼稚園の新しい取り組みについて、各園を巡回指導していただいてどのよう感じられましたか。

**興石** 「3年保育」や「預かり保育」「給食」などを始められたことはとても素晴らしいことだと考えています。

**市長** 市立幼稚園も私立幼稚園もそれぞれの意義があります。市の将来を担う子どもたちのために、市立幼稚園の意義を追求していく必要があると考えています。

**興石** 富田林の市立幼稚園は、ピオトープや行事など、それぞれの園で培ってきたものが違う

ていて、先生が異動しても園の取り組みとして続いています。市立幼稚園全体で大切にされてきたことが継承されており、素晴らしいことだと思います。また、園同士で子どもたちが行き来している合同保育ですが、自分の園では経験できないことが、行った先の園で経験できることはいいことだと思います。



ピオトープ活動

**市長** 少子化の中、子どもたちに一定の「適正な規模」での教育を提供することが必要と考えますが、どのようにお考えでしょうか。

**興石** 幼児の1年は驚くほど発達に違いがあるので、月齢でクラスを分けたり、異年齢クラスを一緒に保育したりすることで子どもたちの育ち合いが期待できます。3歳児は集団ではなく主に個を見てあげなければならぬので、子どもたち同士の関

わり合い、育ち合いを考えても1人の先生で1クラス20人は厳しいと思います。一方で、1クラスに10人いれば、集団による学びが生まれます。そして複数の学級がある方が人間関係がシャッフルされてよい刺激となると考えます。

**市長** 今回の「3年保育」などの取り組みが、子どもたちにとってよい成果となるよう、続けていきたいと考えています。

**興石** 公立はセーフティネットであってほしいと思います。市立幼稚園では、障がいのある子どもにも介助員が配置されていることや、先生達が全ての子どもをきちんと把握していることが子どもや保護者にとって安心できると思います。

子どもがその日あった「楽しい」を家庭で話す、保護者が一緒に子育てを楽しむことができる、そんな場であることが必要です。  
**市長** 市立幼稚園もその特徴を出して、その役割を果たさないといけない時代ですので、幼保のあり方をしっかりと議論していきたいと考えています。

## タウンミーティング・アンケートのご意見

市民の皆さまからのニーズが高い各種事業（3年保育や給食など）を全て実現させてきました。その上で現状や見えてきた課題などを市民の皆さまにお示しし、市立幼稚園では意見をいただくタウンミーティングを7月に実施しました。また、市立保育所ではアンケートを実施しました。いただいた主な意見は以下のとおりです。

### ●タウンミーティング

- ✓ 異年齢を同じ部屋で保育するのは望ましくない。
- ✓ 保育室にエアコンをつけてほしい。
- ✓ 地元の園がなくなったとしてもバス送迎してほしい。
- ✓ 3歳児クラスは、今の8人ぐらいがちょうどいい。
- ✓ 近くに駐車場があってほしい。
- ✓ 存続してほしいが、クラスに5人はさすがに少ないと思っている。小学校へ行ったとき、友達関係が心配。
- ✓ 少人数だと高確率でPTAの役員になるので市立幼稚園が敬遠されてしまう。
- ✓ 預かり保育があれば仕事と両立できる。



青葉丘幼稚園での  
タウンミーティング

### ●アンケート

- ✓ 長時間保育が必要な人、従来の幼稚園でよい人、どちらのニーズにも応えられるようにこども園として変化して欲しい。
- ✓ 発達障がいの子どもに対する理解、対応がどこの園にもほしい。
- ✓ 公立園は療育的な子どもへの手厚い関わりが経営を度外視して可能な公共財産でもあるので、公立と私立の役割分担を市として明確化して位置付けてほしい。
- ✓ これからの社会で必要な人材は、自分の考えやアイデアを発信できる人だと思うので、市立幼稚園の教育はこの力を養ってくれていると思います。市立幼稚園をこども園や保育園化しないでほしいです。
- ✓ 少子化や合理化を考えると施設を減らす市の政策も分らないが、子どもたちや保護者にとって良いことなのか。
- ✓ 公立保育園に通わせて、親子共々満足しています。
- ✓ 公立保育園の民営化には反対します。

## 保育所―新たな保育施設の充実

市の待機児童は、年度当初の状況で平成18年度以降発生していませんでした。

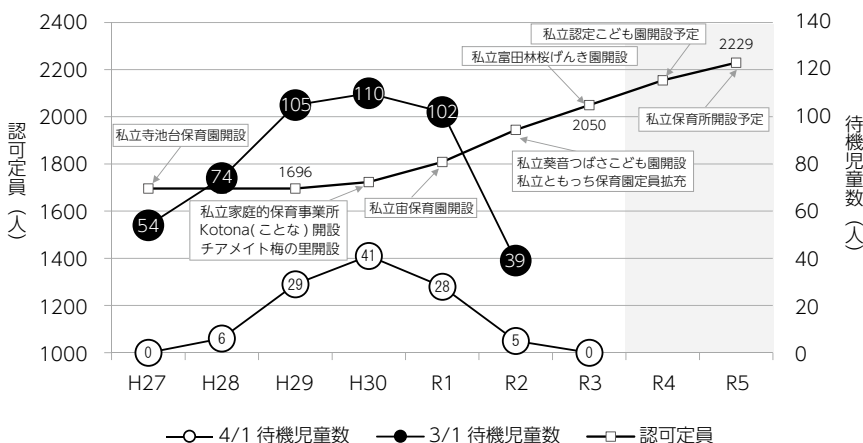
しかし、平成28年度から待機児童が発生し、平成30年度には41人と急増したことで、

待機児童の解消を重要課題として保育施設の誘致に取り組んできました。

その結果、平成30年度から令和3年度に、計5園の保育施設が新たに開園しました。保育の受け皿を拡充したことで、令和3年度当初の待機児童は解消しましたが、年度途中の待機児童も解消すべく令和4年度に認定こども園1園、令和5年度に保育所1園が新た

に開園する予定です。また、以前から要望のあった病児保育を富田林病院の院内保育施設（なでしこ）の建て替えに併せて専用の保育室を整備し開始しています。

待機児童数および保育の受け皿の状況



ことな (家庭的保育)



チャメイト梅の里



宙保育園



あおいつばさこども園



富田林桜げんき園

## 市立幼稚園・保育所の現状と課題

### 市立幼稚園

市立幼稚園は、現在、10園で計30クラスあり、内18クラスで園児数が10人未満の状況です。園児数が少ない園では、一人一人の子どもに教諭の目が行き届き、きめ細かな教育を提供できる反面、子ども同士が共に学び・育つ機会の減少、クラス替えができないことによる人間関係の固定化などが懸念されます。

また、普段の教育活動に加え、運動会や生活発表会などの園行事においても限界が生

じ、集団の規模が大きくなる小学校への就学に向けても課題であると考えています。

### 市立保育所

平成22年策定の市立保育所民営化基本方針は市域を4ブロックに分け、各ブロックに子育て支援拠点とする市立保育所を置き、全体では7園から4園にする内容です。方針に基づき、平成24年度にみどり保育園を民営化しましたが、次の民営化を検討する中で待機児童が発生したことで、待機児童の解消と市立保育所の民営化を一体的に進める方法を取らざるを得ない状況となりました。現在1園の民営化は終了していますが、保育の

受け皿を拡充しつつ待機児童の状況を見極めてあと2園の民営化を進める必要があります。

また、各市立保育所では、入所の弾力化により認可定員を超えて受け入れている状況です。より安心安全な保育を提供するためには、大規模園の認可定員の見直しと、入所の弾力化の解消が必要です。

また、「使いやすい病児保育」「医療的ケアが必要な児童への対応」「保育と療育の両立」など、保護者のニーズに合った対応が必要と考えています。

### 新たな「市立幼稚園・保育所のあり方基本方針」の策定に向けて

市立幼稚園・保育所の現状を検証するとともに、課題に対応することは、次世代を担う子どもたちの健やかな成長を育む上で不可欠であると考えています。

子どもたちのことを一番に考えると、市立幼稚園では、この間新たに実施した3年保育・預かり保育・給食などの

事業を持続発展させるとともに、適正規模の集団教育のための園の配置を今後進めていく必要があります。また、市立保育所では、民営化を進めることと、新たなニーズに対応していく必要があります。少子化が進展する中、これらを実現するため、市立施設の総量を勘案した施設面の整備や効率的で持続可能な運営を含め、新たな「市立幼稚園・保育所のあり方基本方針」を今年度中の策定をめざし、令和3年11月頃に改めて素案をお示しします。

### 市立幼稚園・保育所についてのアンケート（ご意見）にご協力ください

広く市民の皆さんからご意見をいただくため、アンケートを実施します。資料と説明動画は、市ウェブサイト（こども未来室のページ）をご覧ください（右図のQRコードからもご覧いただけます）。



回答期限 9月30日(木)

#### アンケートの回答方法

①ウェブサイトでの回答 市ウェブサイト（こども未来室のページ）で回答してください。

②書面での回答 各市立幼稚園・保育所または、市役所2階こども未来室・3階教育指導室に資料とアンケート用紙があります。回答用紙は各施設に提出してください。

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、ウェブサイトでの回答にご協力ください。

### 市立保育所などのタウンミーティングを開催します

とき 9月26日(日)、①午後1時～2時、②午後4時～5時

ところ ①市役所、②金剛連絡所2階ホール

対象者 保護者や地域の人など 定員 各30人

申し込み いずれも9月6日(月)～24日(金)、午前9時～午後5時30分に、こども未来室（内線291）へ（申し込み先着順、電話申し込み可）